



アフターパーツ開発最前線  
グリップ、ドリフト、さあどっち?  
最速マシンのメイキング

# 86/BRZ の愉しみ方



ECUチューンの現状  
技ありホイール選びAtoZ  
走り屋新世代☆20代の主張  
エアロパーツで攻める!

特別付録  
小冊子

『新作パーツまるごとCHECK』



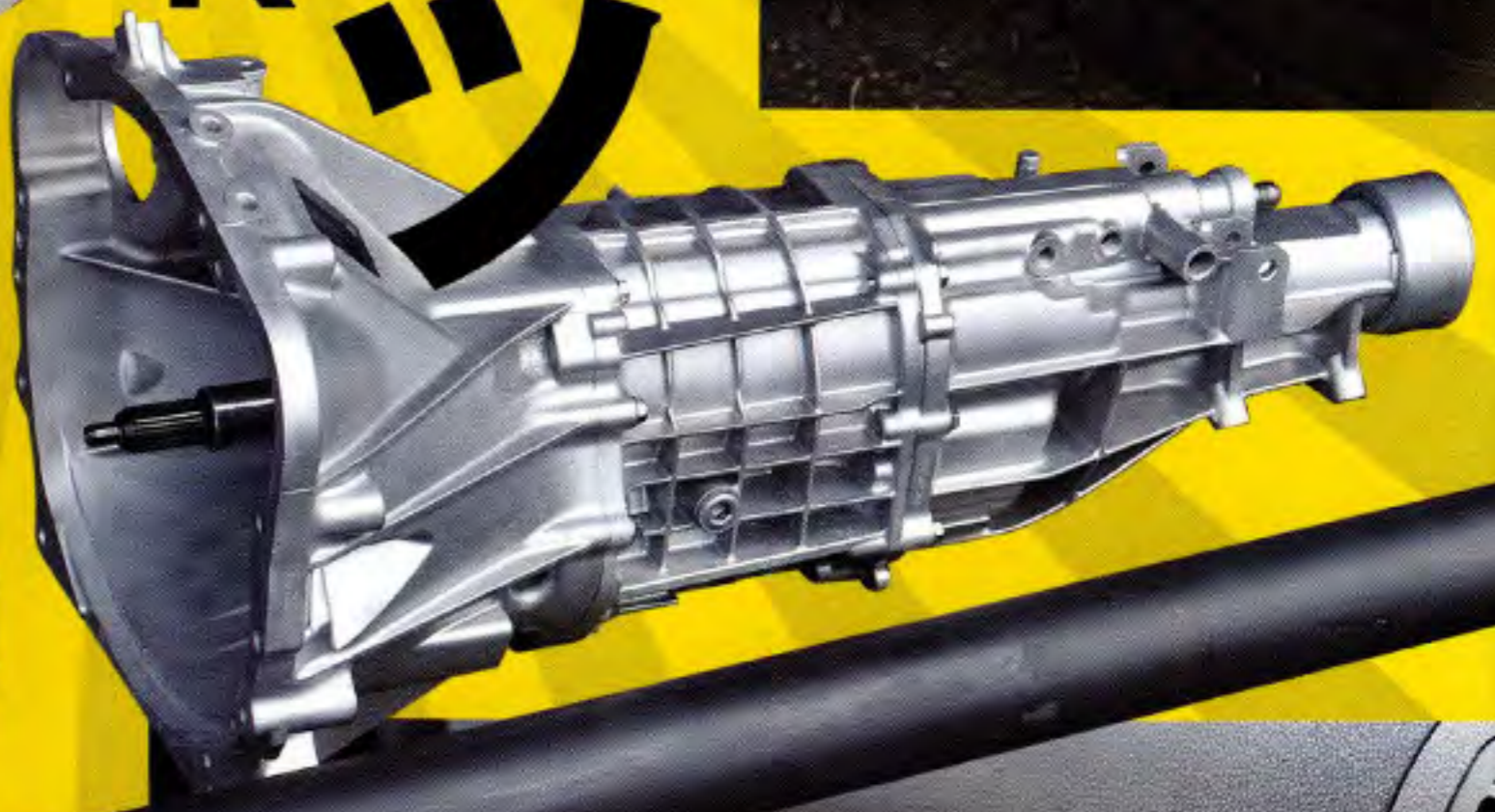
OPTION  
2022年7月号  
No.546  
特別付録

# OPTION

Japanese Tuning Culture

「メーカーに聞く、  
コレ、意外と売れなかったんです…」  
「チューナーに聞く、  
このパーツは画期的だった!!」  
OPT編集部員の、  
「付けて良かったあのパーツ」

# 新作パーツ まるごとCHECK



BRIDE

edirb.

BRIDE  
RACING MONSTER

2:43.27

BRIDE

取材協力：ブリッド ☎052-668-2611  
https://bride-jp.com新作パーツ  
まるごとCHECK『STRADIAⅢ』  
『GIASⅢ』『ZETAⅣ』

走り屋の定番

BRIDEの  
シートで昂れ!

昨年、一昨年とリクライニングバケット&フルバケットシートのラインアップを刷新してきているブリッドの各種シート。そんな中でもストリート系走り屋のマストアイテムとなっているのが「ストラディアⅢ」と「ガイアスⅢ」のリクライニングバケットだ。

骨格となるボーンフレームは3D-CADによって解析された新設計。モノコック構造のシェルは、フルバケットシート『ジータⅣ』の構造を継承し、ホールディング性能に加え、剛性&強度を向上させている。「ガイアスⅢ」は「ストラディアⅢ」のシェルをデザインベースとしている。

ストラディアⅢ&  
GIASⅢをチェック!

ストラディアシリーズ最大の魅力と言え、街乗り時やポジション調整に力を発揮するリクライニング機構。旧モデルのリクライニング機構を見直し、よりコンパクトで強度も高めている。また可動部のバックラッシュ(遊び)も抑え、ホールディング性能が向上している。

昨年、一昨年とリクライニングバケット&フルバケットシートのラインアップを刷新してきているブリッドの各種シート。そんな中でもストリート系走り屋のマストアイテムとなっているのが「ストラディアⅢ」と「ガイアスⅢ」のリクライニングバケットだ。

「ストラディアⅢ」は、サーキット走行に求められるホールディング性を確保しながらも、シヨルダーサポートやサイドサポート形状の最適化によって高い乗降性を実現。日常での使用も快適だ。

骨格となるボーンフレームからモ

ノコックシェルまでを新たに設計したことで、剛性や強度が飛躍的に向上。フレームの耐荷重強度は200%、ねじれ強度は40%、バックレスト前突強度は15%もアップしているというのだ。さらにリクライニング機構も新設計となり、コンパクト化&操作性の向上が図られている。これによりストリートでの快適性も上がり、サーキットでのポジション変更も容易になった。

「ガイアスⅢ」は、ディープシヨルダーサポートとハイサイドサポートを採用し、ストラディアⅢよりもさらにスポーツ走行に適した設計。フル

# 高級スポーツカーとのマッチングが冴える プレミアムスポーツシート“edirb”

## edirb 172

(ロークッション仕様)  
※171はスタンダードクッション仕様

161と比べ、ショルダー&ニーサポートを浅めに設計。乗降性を重視することでストリートでの使い勝手はより向上。フルバケットシート並みのホールド性も確保する。



## edirb 161

(スタンダードクッション仕様)  
※162はロークッション仕様

サーキット性能とストリートでの利便性を備える、フルバケット並みにホールド性の高いリクライニングシート。ホールド性を重視した深いショルダー&ニーサポート設計のフラッグシップセミバケット。



## edirb OB1

バックレストが丸みを帯びたラウンド形状となり、OA1と比べてより深い着座ポジションを実現。視線位置を下げて座ることができるローアングルフルバケットシート。



## edirb OA1

バックレストがストレート形状の標準的なスタンダードフルバケットシート。リニューアルされる全てのエディルプシートは、背面のロゴサイズを小さくし、低い位置に配置することで“シックな大人感”を際立たせている。



# edirb 『161』『172』『OA1』『OB1』

ブリッドのプレミアムブランドとなる「edirb」のシート各種もモデルチェンジが行なわれ、まもなくリリースされる運びとなっている。とくに注目したいのは、リクライニングバケットだけでなく、ついにフルバケットシートのラインアップが登場する点だろう。

edirbに共通する特徴は、表皮の全体ベースは「プロテインレザー™」で、中央の背部・座部・腿部クッションに「ウルトラスエード」、サイドサポート上面は「ビガプリモ」を採用。この新たに採用する新素材「ビガプリモ」は、擦れに対する耐久性に優れたシボの入った人工皮革だ。また、意匠もキルティング加工を施したデザインに一

新する。

いつの時代も高級スポーツカーは内装も高品位なデザインと素材が採用されているものだが、それに負けず、かと言って目立ち過ぎないように、上質なデザイン&ビジュアルフィニッシュで“大人のスポーツ”を演出。フルバケットシートの登場で、週末のサーキット走行を思う存分愉しむ。そんなシチュエーションが良く似合う。若い頃はブリッドのバケットシートと共に育ち、年齢を重ねるうちに乗っているクルマや質感へのコダワリも増してきた。そんなミドル世代、ハートのど真ん中を射抜くこと間違いなしだ。

## 土屋圭市 コラボモデルも設定!

ストラディアⅢ(23万6500円~)&ジータⅣ(13万7500円~)には「ドリフトキング」や「職人」の異名を持つ、土屋圭市氏監修によるコラボレーションモデルを設定。「KING」や「職人」の刺繍が施されているモデルだ。



## ストラディアⅢ

※写真は「KING 職人モデル」

グラデーションロゴ、ブラック、レッド/スタンダードクッション、ロークッション

価格22万円~(FRP製シルバーシェル)  
価格27万5000円~(スーパーアラミド製ブラックシェル)



## ガイアスⅢ

グラデーションロゴ、ブラック、レッド/スタンダードクッション、ロークッション

価格23万1000円~(FRP製シルバーシェル)  
価格28万6000円~(スーパーアラミド製ブラックシェル)



## ジータⅣ

グラデーションロゴ、ブラック、レッド

価格12万3200円~(FRP製シルバーシェル)  
価格17万8200円~(スーパーアラミド製ブラックシェル)

バケットシートまでは...と考えるオーナーにとっては、ベストチョイスとなるだろう。そしてフルバケットモデルとなる「ジータⅣ」は、ブリッドのフルバケットシリーズのスタンダードとなるモデルで、16年の時を越えてリニューアルされた確かな逸品。車検はもちろんFIA規格も取得しているので国際規格のレースでも使用できる。重量が7.4kgと軽量化に仕上げられているのもレースシーンでは大きなアドバンテージだ。